

うらやす地域福祉活動計画Ⅴ（素案）に対する意見と浦安市社会福祉協議会及び うらやす地域福祉活動計画Ⅴ策定委員会の考え

- A : 意見を受けて加筆・修正したもの
 B : 案に意見の考え方が含まれていたもの、または今後の取り組みの参考にするもの
 C : 案に関連する質問などその他のもの

NO	意見の内容	対応	社会福祉協議会及び策定委員会の考え
1	入船4丁目のつつじ会とこの地区の社会福祉協議会合同でスポーツ活動(具体的にはグラウンドゴルフ)を毎年計画しているつもりですが、賞品及び参加賞と昼食を用意するため協議会からの補助が全く計画されていない。 その為、今季はつつじ会会員は¥500。それ以外からの参加費を¥1000にした所、協議会支部長はそれなら参加しないとこの地区の会員に案内もしなかった模様です。 当然、賞品及び参加賞は、参加費と会員の年会費(自主財源)から充当しております。 従い、来季はお誘いもしない考えでいます。福祉協議会としては、地域貢献の立場からどの様にお考えでしょうか。	C	社会福祉協議会支部の活動においては、支部社協配分金を財源に運営されております。他団体との共同企画や共催企画の際は、相手様と支部社協との間で、役割や双方の金銭的負担の協議をおこなったうえで、双方の合意をもって開催しています。 金銭的負担の例として、活動にかかるボランティア保険料や場所賃借代、広報費、食材費等が挙げられます。

	アンケートを拝見し、福祉現場の悲鳴をひしひしと感じました。特に精神疾患を抱える方（困難ケース）の増加、家族力の低下は、私たちも日々感じています。当会は独立した団体として自分たちのできる範囲で自由に活動するのが基本ではありますが、市内で希少な存在であること、今の福祉現場のひっ迫を考えると、もう少し有効に活動できないか、と思う面もあります。そのためには、①他団体との特性を活かした役割分担、②専門職のサポートが必要です。そこを整理できれば、もう少し新規依頼を受けられるかもしれません。 2 ①他団体との特性を活かした役割分担 例えば、きれいな家きれいにするようなケアもあります。住民同士の支えあいによって孤立防止、ふさぎ込み防止につながっている場合は意義を感じますが、単なる安い掃除屋さんと思われているようなケースもあります（経済力もありそう）。そのようなケースは民間の家事代行サービスを利用して頂くほうがよいのですが、なかなか利用会員に切り出しにくいのが現状です。一方で、毎回の支援内容が一定で単純、コミュニケーションもとやすいケースは、経験の少ない団体や無償ボランティアの方でも担えると思います	B	58ページの社会福祉協議会の役割における「CSWが市民/地域の状況を見極めながらの、支援チームの中で調整役を担う。」の内容に含まれています。 具体的な支援を展開していく際には、御指摘いただいた各団体の実情を把握して、取り組んでいきます。
	②専門職のサポート 数年前に比べると「連携」が進んできており、特に介護保険の地域包括支援センターとの信頼関係は、当会の有効な活動に大変役立っています。しかし、もう少し誰かに相談できれば、と思うケースもあります。対応が難しい方の場合（特に本人や家族に精神疾患があるようなケース）は、支援に行き詰まりがちですが、専門職と連携や相談ができると安心感が生まれ、自分たちのやれる範囲も明確になるので、ケアを継続しやすくなります。 3	A	58ページの社会福祉協議会の役割に、 <u>「・他団体が抱える課題に対して、一次相談窓口となる。」</u> 活動目標に、 <u>「○社協が展開する地域支援により、支えあい団体の活動が継続できる。」</u> の文章を加筆します。

4	国は介護保険のヘルパーがしているケアの1部を、はとぼつぽのような住民参加型生活支援団体が担えないかと考えているようですが、女性や高齢者も働くことが推進されるなか、負担や責任の多いコーディネーターや事務局も含めたすべてを、善意の有償ボランティアで運営する会のような団体は存続が難しいと思われる。これまでの形にこだわらず、時代に即した新しい形が生まれることを期待しています。	B	58ページの社会福祉協議会の活動目標「○個別支援をととして、支えあい団体が創出される。（再掲）」の内容に含まれます。 支えあい団体の実情を把握し、側面支援や支えあい活動のあり方を検討します。
5	第1章計画策定の趣旨 1ページ 第4章受け止めて対応 57ページ バブル崩壊後の就職難、コロナ禍でますます増えた40代の子と70代の親、<u>3類型ひきこもりが有る</u>①「伝達系引きこもり」発達障害・精神科医②「疑問系引きこもり」・「なぜ？」本人のペース寄り添う ③「家族系引きこもり」機能不全、虐待など、「社会的に孤立した人達」各地域の「ひきこもりサポートセンター事業」、ケアマネジャー、相談支援専門員、民生委員達が<u>見て見ぬ振りすることなく</u>、「今そこにある危機」を「事件にする前にチームでアウトリーチする手法の模索」	B	1ページの計画策定の趣旨、57ページの【施策の展開方向】の内容に含まれています。 具体的な支援を展開していく際には、御指摘いただいたケースの状況に応じた支援に留意して取り組んでいきます。
6	第2章市民の役割 31ページ 防災訓練参加者増対策として消防署とタイアップ、消防車の前で子供達に消防服を着せ又はしご車の梯子に乗せてもらい記念撮影 マンションの場合上階より放水訓練など	B	31ページの市民の役割の③の内容に含まれています。
7	第4章各施設の展開 47ページ 自分自身を理解する、困りごとの相談先を知っておく 地域にある様々な社会資源が十分知られていない	B	47ページの【現状や課題】の内容に含まれています。